

献血可能な服薬剤について

以下のお薬については、献血当日に服用されている場合でも、原則として献血にご協力いただけます。ただし、献血にご協力いただけるか否かの判断は、お薬の種類だけでなく、ご本人の体調、服薬目的、症状等を考慮して、検診医が最終的な判断を行いますので、ご理解下さい。できれば、服薬中又は服薬していた薬剤あるいは説明書をご持参ください。

1. 当日服用していても採血可能な薬剤

1. ビタミン剤…………… 貧血治療薬、ビタミンKを除く
2. ミネラル剤…………… 貧血治療薬を除く
3. 漢方薬…………… 肝疾患、感冒、喘息等のために服薬している場合を除く
4. 高脂血症治療薬…………… エパデール、ロトリガ等を除く
5. 花粉症治療薬…………… セレスタミン等を除く
(セレスタミン等ステロイド含有薬は服用中止後3日以上経過後採血可。)
6. 胃腸薬…………… 感染性下痢症のある場合を除く(制吐剤は当日不可)
7. 低用量・中用量ピル(女性ホルモン)……………
…………… 避妊目的や更年期障害や月経困難症等の補充治療法に用いている場合、
低用量ピルの服用は採血可。月経移動(周期変更)・機能性出血を目的に服用する中用量ピルも採血可。
8. サプリメント(栄養補助食品)
9. 抗潰瘍剤…………… 潰瘍予防薬として用いている場合、消化性潰瘍のある場合を除く
10. 局所投与の薬物…………… 点鼻薬、点眼薬、吸入、外用薬(塗り薬、貼り薬)
11. リコンビナント成長ホルモン…………… 1995年4月以後に治療開始している場合
12. 緩下剤…………… アローゼン、センナ、セレミンソフト、プルセニド、ひまし油等
13. 降圧剤…………… 心、腎、血管系の合併症がないこと。高血圧症の治療薬として複数内服も可。
血圧がほぼ正常にコントロールされていることが条件。当日の血圧を考慮します。
14. 過敏性腸症候群治療薬…………… 抗うつ薬でなければ採血可。

2. 当日服用していなければ採血可能な薬剤(前日まで服用可)

1. 高尿酸血症治療薬(痛風)…………… ザイロリック、ユリノーム、パラミジン、リボール等
2. 内服用筋弛緩剤…………… アロフト、ミオナール、テルネリン、ムスカラム、スパントール等
3. 睡眠薬、抗不安剤(安定剤)…………… 体調が参考とされる
4. 消炎酵素剤…………… ターゼン、ノイチーム、レフトーゼ、キモタブ等(炎症症状がない場合)
5. 前立腺肥大治療薬…………… アボタード(6ヶ月後採血可)、
プロスカール、プロペシア(1ヵ月後採血可)を除く
6. 利胆剤…………… ウルソ、ウルソサン、ケノコール、コスパノン等(基礎疾患による)
7. 市販薬、抗菌剤のはいっていない風邪薬を前日服用……………
…………… 当日症状がない場合(血小板成分採血は内服中止後3日以上経過後採血可)
8. 去痰剤…………… 疾患により症状が落ち着いていれば当日採血可能な場合があります。
9. 高脂血症治療薬(エパデール、ロトリガ)…………… 血小板採血以外については当日内服していなければ可。
血小板成分採血については服薬中止後3日以上経過後採血可。
10. 消炎鎮痛剤…………… 血小板採血以外の場合は症状がなく落ち着いていれば前日までの服用は可。
血小板採血は服用中止後3日以上経過後採血可。

3. 服薬中止から3日以上経過していれば採血可能な薬剤

1. 抗精神剤、抗うつ病(抗不安剤、安定剤を除く。)…………… 体調が参考とされる
2. 抗菌薬、抗真菌薬、抗結核薬、抗ウイルス薬…………… 当日症状がなく治癒している場合
3. 止痢剤…………… アドソルビン、タンアンルビン、トランコロロン、フェロベリンA、ロペミン等
(感染性下痢に注意)
4. 喘息治療薬…………… 発作時の β 2刺激薬(吸入薬、貼付薬を含む)、
キサンチン誘導体、(最近の発作の有無を考慮する)
5. 痛風発作治療薬…………… コルヒチン
6. 事後に服用するピル(中用量ピルを含む)
7. 花粉症治療薬…………… ステロイド系抗アレルギー薬(セレスタミン、アプシラジン等)
8. 市販風邪薬…………… 血小板採血以外の場合は症状がなく落ち着いていれば前日までの服用は可

4. その他

1. 出血を伴う歯石除去など歯科治療を受けた場合は、3日以上経過後
2. 注射薬の使用は原則当日は採血不可